

第47号

編集・発行
栃木県緑の相談所友の会
宇都宮市西川田4-1-1
(財)栃木県民公園福祉協会
事務局内
電話 028-659-5868
印刷所 (株)泰明グラフィクス

街に緑

家庭に花を

とちぎ花と緑

支部観察会報告

宇都宮支部

宇都宮支部の第一回観察会は、四月二十六日に茨城県ひたちなか市の国営ひたち海浜公園と水戸市植物公園を中心として実施する予定でしたが、三月十一日の東日本大震災のため急遽中止することとなってしまいました。



写真 忍野八海

次に河口湖畔でカチカチ山ロープウェイに乗り、天上山中腹にある展望台で富士の全貌を眺める目算でしたが、生憎富士山全体に雲がかかり、その雄姿を目的



当なりに出来なかったのは残念でした。ただ、頂上の一角が垣間見えたので富士山の雄大さを想像することが出来たのではないのでしょうか。

最後の見学地は「もみじ回廊」でした。梨川畔に植栽された約六十本のイロハモミジ巨木の並木で、富士のシルエットをバックにライトアップされた紅葉が見所ですが、時間の都合でそこまで足を伸ばした方は少なかったようでした。

県北支部

県北支部では春と秋の年二回観察会を実施しています。春(五月十日)は、軽井沢町植物園に行きました。時期的には少し早いと思われ、しかし貴重な植物や、地域の山野草など千六百種余りが園内に集められており、クリンソウなどが見ごろでした。



写真 春の観察会

秋(十月二十五日)は、福島県磐梯吾妻スカイラインの紅葉が時期も天気も良

県南支部

春の自然観察会は、六月二十一日(火)東京都調布市にある神代植物公園に四十四名で出かけました。公園に着いたところで、花菖蒲が迎え入れてくれました。グループごとに分かれてボランテニアの案内で園内散策を開始しました。園内ではアジサイやホタルブクロ、紫支部の紫色が眼にとまりました。巨大蓮の葉には、太い針があり何気なく触れてビックリ、痛い痛いと呼びそうになりました。



写真 神代植物公園

ボランテニア活動報告

宇都宮支部 ボランテニア活動は年四回予定のうち、二回は多数の参加者を得て終了することができました。

五月十四日は二十五名の参加者で「園内除草」を行いました。普段は手の入りにくい所を重点的に作業して頂きましたので、公園としては大変ありがたいと思っております。二回目は七月十六日に実施した「アジサイの剪定」でしたが、六十三名の参加で、公園内ほぼすべてのアジサイに手を入れることが出来ました。来年もすばらしい花を咲かせてくれるものと思えます。

秋の観察会は、十月十一日(火)に越後湯沢にあるアルプの里に五十九名で出かけました。麓の駅から山頂までは百六十六人乗りの大型ロープウェイで向かいました。アルプの里は、いろいろなエリアに分かれていて、私たちは様々な山野草が植えてある所を中心に

見て回って、大変勉強になった観察会でした。



アジサイの剪定

ますが、今年は放射能汚染が危惧されていますので、園外持ち出しは禁止されています。ご了承ください。

県西支部

県西支部では、年二回のボランテニア活動を実施しています。春のボランテニア活動(六月五日実施)では、三十名ほどの参加をいただき、公園内の数カ所で植栽活動を行いました。使用された草花は二色のアゲラタム、メランポジウム、千日草など約千五百本です。イベント広場の花時計やオートキャンプ場入口のハンギングバスケットなどに、色どりなど花の成長を考えて植栽されました。

県南支部

春秋二回のプランターへの草花植え付けなど積極的に参加をしていただき感謝しています。他にもアジサイの剪定や庭木・果樹の剪定など積極的な参加をいただきありがとうございます。



プランター植栽

第25回栃木県営都市公園写真コンクール作品展

- 井頭公園緑の相談所 1月5日(木)~1月15日(日)
中央公園緑の相談所 1月19日(木)~1月29日(日)
みかも山公園緑の相談所 2月9日(木)~2月19日(日)
日光だいや川公園緑の相談所 2月23日(木)~3月4日(日)
那須野が原公園緑の相談所 3月6日(火)~3月14日(水)

公園の魅力を様々な視点で捉えた作品がそろいました。是非ご来場ください。

緑の相談所は、火曜日が定休日です。(祝祭日にあたる場合は翌日が休みとなります)

会員だより

秋の自然観察会に

参加して

東北支部 山本榮司

友の会に入会し、春と秋の行事の「友の会展示会」への山野草出品と「自然観察会」への参加は毎回楽しみにしています。

今回は磐梯吾妻スカイライン・盆栽、山草店のスケジュールが生まれ、地元には無い山野草を見つけたり購入する事が出来るかも知れないと思ひ、すぐに参加申し込みました。

十月二十五日(火)当日は、目的地の天気予報は生憎雨となっており、この数回観察会は雨に遭っている為、支部長さんも「いつものように雨模様」での挨拶で始まり参加者の笑を誘っていました。東北自動車道の郡山ジャンクション近くに入る頃には、青空も少し見える迄になり磐梯吾妻スカイラインに着いた時は山肌の日差しが当たり中腹の見事な紅葉が車窓から観られ、皆さんから「綺麗」「素晴らしい」と歓声が上がり

ました。散策地点の浄土平は標高千六百メートルの為、残念ながら紅葉の見ごろは終わっていました。岩肌の中にはこの場所が自生地のシラタノキが白い実をつけ、イワカガミも花芽を抱いて照葉をしっかりと色づけて自然の逞しさを感じました。又皆さんは吾妻小富士への登頂に挑戦され、シルバー世代の健脚に敬服し

ました。朝食は前に利用した「四季の里」で各自蕎麦、バイキング等選択しデザートは事務局の方が事前に手配して頂いた券で、ポリウラム満点のアイスクリームを参加者全員で頂きました。スケジュールの最後は盆栽屋「あべ」と山草卸売「福島植物園」へと行き、今回の主目的の盆栽の銘木や山野草の苔玉、寄せ植えなどを鑑賞し、その組み合わせや鉢の大きさ、デザイン等(瓦も利用されており)大変勉強になりました。その後五葉松の苗木や山野草を購入すべく園内を探索し互いに見受けた場所や品物の情報交換をしながら、気に入った物を皆さん購入されました。

私も我家は置き場所が狭く厳しい状況も考えず三年前には友の会の展示会への出品作にと、大切に育てていきたいと思っていました。

今回も観察会は会員相互の交流を一層深める場となり、楽しい一日を過ごすことが出来事務局のおかげと感謝しています、有難うございました。



今回も観察会は会員相互の交流を一層深める場となり、楽しい一日を過ごすことが出来事務局のおかげと感謝しています、有難うございました。

竹はりに画に

取り組んで

真岡支部 菅谷清康

私が退職し、早五年。退職間近の時はあれもこれも、これもしようと思つてましたが、いざ自宅にはいると力が抜けたようにブラブラの毎日。

そんな中、地元新聞に図書館ボランティアを見つけて応募しました。体を動かしたいが、ちよっぴり運動は苦手。でもスポーツ観戦は大好きなのですが、何か自分なりに趣味を持ちたいと思ひ、毎日のように新聞やチラシ情報誌等を活用し展示会に行ったり体験に参加しているうちに、新聞上に宇都宮の中央公園で竹工画展を発見しました。

どんなものか家内とドライブがてらに見に行く途中、車での会話は「竹だから竹で編んだ籠や花器、又今流行の竹とんぼ、昆虫だろー」などと展示会場へ。展示品を見てビックリ。全てが縁縁に入り、想像を遙かに超え衝撃を得ました。「あつこれだ」と思ひ担当者に話を聞く。担当者は詳しく教えてくれました。

これは茨城の古河市に二代に渡る籠職人の方の発案とか?はつきりしないようでしたが、材料は孟宗竹が主で真竹も使われるらしい。竹を薄く剥き、原画を元にトレーシングペーパーに写し、竹に貼りそれを裁断。色は一切使わず鉄板の上で焦がす、又焼ききりで線を入れて表していきま



「私たちの教室に来て」と言われ、即教室へ。ところが教室の方達をみてちよっぴり戸惑いを感じました。会員の方は全て七十歳以上の方達ばかり。何かいきなり敬老会に参加するよ

うな感じを受けショックでしたが、ここで奮起しなければと思ひ頑張りました。私の一つの質問に対し先生は二つも三つも教えてくれました。今では仲良くなり、逆に私の方に質問をされるようになり、参加して良かったと感じております。

そんな中、自分の作品も増え展示した所大きな反響をもたらし、「この趣味をやりたい」と言う方達が現れ、真岡市の協力も得て今では三ヶ所も場所を借りて教室を。また井頭公園グリーンサロンの協力も頂き二回の教室を開いております。

この竹はりに画はまだまだ一般には知られておらず、自分もなるべく数多くの展示会を開き、多くの方達にこんな趣味もあるということを知っていただきたいと考えております。

この竹はりに画はまだまだ一般には知られておらず、自分もなるべく数多くの展示会を開き、多くの方達にこんな趣味もあるということを知っていただきたいと考えております。

この竹はりに画はまだまだ一般には知られておらず、自分もなるべく数多くの展示会を開き、多くの方達にこんな趣味もあるということを知っていただきたいと考えております。

この竹はりに画はまだまだ一般には知られておらず、自分もなるべく数多くの展示会を開き、多くの方達にこんな趣味もあるということを知っていただきたいと考えております。

第二回自然観察会に

参加して

真岡支部 加藤千恵子

錦秋といえる好季節、日光自然観察の企画に感謝しながら、天候にも恵まれ和やかな雰囲気での出発です。

現地に着いてから二手に。Bコースは足湯・温泉入浴に、併せて周辺散策。それぞれ紅葉の日光をこのゆくまで満喫されたことでしょう。

Aコースは赤沼を起点に四時間を目安に出発。吹き抜ける白秋の風は、身体心のすみずみまで浄化してくれる清々しいものです。外山さんの名ガイドに耳を傾けながら快い足どり

で木道を進みました。熊笹を分け入り木道の途中の大きな休憩場所に三々五々陣どりの早めの昼食。自然の中では健脚に通ずるのでしようか!食事の後は皆さん年齢を思わせぬほど足どりが軽く日光の大地を踏み歩を進めました。

愛するが故の意義深いものがあるから。戦場ヶ原は中間湿原が草原に変わる過程にあり、いま二十年後、三十年後を見据えた取り組みが必要とのこと。シラカバ、ズミ、カラマツ、谷地坊主の姿に将来を思いながら歩を進め、龍頭の滝に到着しました。

龍頭の滝では二台のバスが合流し、分乗したそれぞれ面持ちには、日光の大地に一日遊ばせて貰った充足感が満ち溢れ、皆が程よい疲れをおみやげに帰路につきました。

平成二十三年度の自然観察会は、群馬県太田市のアンディ&ウイリアムスボタニックガーデン、道の駅どまんなかたぬま、つがの里などを回るコースで九十二名参加のもと実施されました。出発時刻八時を少し過ぎて発車し、第一の見学場所ボタニックガーデンへとバスを走らせ、途中、出来たばかりの北関東自動車道の出流原PAで休憩となりました。さすがに休憩所も道路も真新しい香りがしました。

第一の目的地は、太田桐生ICを降りて直ぐでした。伝統的英国式庭園の趣向を凝らし、世界中から様々な植物を集めた素晴らしい庭園となっていました。特に色とりどりのバラの花やスイレンの鮮やかな色彩が印象的でした。次は、和風レストランでの昼食でした。名前が示すとおり豪華な内容の昼食で美味しくいただきましたが、人数が多かったため、全ての料理が出てくるのに時間がかかりました。次は、昼食会場から程近い、道の駅どまんなかたぬまへと進みました。以前より駐車場が広くなり、評判どおりの道の駅となつていようです。

銘々お目当ての面白い物を済ませ、お土産の量が膨らんでいました。次は、最後の見学場所、東北高速道路のそばにある都賀町のつがの里です。ここは、都賀町が平成五年に観光の拠点としてオープンした公園です。蓮池が見ごろをむかえていました。また数種類の桜の木が千本ほど植栽されているので、時期には花見に最適と思われま

見学を全て終え、十六時ごろに鹿沼ICから高速道路に入り、予定より少し早めに、だいや川公園の駐車場に到着しました。観察会をおし、仲間との会話を弾み、会員相互とのコミュニケーションも取る事が出来、とても楽しい自然観察会となりました。そして、この次の自然観察会を待ちどおしく思ひながら家路につきま

見学を全て終え、十六時ごろに鹿沼ICから高速道路に入り、予定より少し早めに、だいや川公園の駐車場に到着しました。観察会をおし、仲間との会話を弾み、会員相互とのコミュニケーションも取る事が出来、とても楽しい自然観察会となりました。そして、この次の自然観察会を待ちどおしく思ひながら家路につきま

緑の相談所は、火曜日(祝祭日)に当たる場合は翌日が休みとなります。